

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 31 日 (2014.7.31)

【公開番号】特開 2012-8567 (P2012-8567A)

【公開日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2012-002

【出願番号】特願 2011-136837 (P2011-136837)

【国際特許分類】

G 0 3 B 42/04 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 42/04 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 W

G 0 1 T 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 17 日 (2014.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ドッキング・コネクタ接点 1 2 2 の第一の対を有するドッキング・コネクタ 1 0 0 を含む可搬型撮像用検出器 1 4 を動作させる方法であって、

ドッキング・コネクタ接点 1 2 2 の第一の対に跨がる電圧を測定するステップと、前記測定される電圧を用いて前記可搬型検出器 1 4 がデジタル・カセット・モードで動作しているのか、又はカセット・ホルダ 2 2 又は充電箱 2 0 に設置されているのかを決定するステップと

を備えた方法。

【請求項 2】

前記可搬型検出器 1 4 がカセット・ホルダ 2 2 にあるのか、充電箱 2 0 にあるのか、又は前記可搬状態にあるのかを決定するために前記測定される電圧を用いるステップをさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記可搬型検出器 1 4 がカセット・ホルダ 2 2 にあるのか、又は充電箱 2 0 にあるのかを決定するために前記測定される抵抗を用いるステップをさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記可搬型検出器 1 4 が前記充電箱 2 0 に設置されていると決定されたとき又は前記可搬型検出器 1 4 が前記可搬状態で動作していると決定されたときに前記可搬型検出器 1 4 をアイドル・モードに自動的に置くステップをさらに含んでいる請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記可搬型検出器 1 4 が前記カセット・ホルダ 2 2 に設置されていると決定されたときに前記可搬型検出器 1 4 を待機モードに自動的に置くステップをさらに含んでいる請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第二の一对のドッキング・コネクタ接点 1 2 2 に跨がる前記測定される抵抗が実質的に 0 であるときに前記可搬型検出器 1 4 を第一の動作モードとして構成するステップと、前記第二の一对のドッキング・コネクタ接点 1 2 2 に跨がる前記測定される抵抗が 1 0 0 よりも大きいときに前記可搬型検出器 1 4 を第二の異なる動作モードとして構成するステップと

をさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ドッキング・コネクタ 1 0 0 は複数の電力接点を含んでおり、該複数の電力接点において電圧を測定するステップをさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記可搬型検出器 1 4 が前記固定状態から前記可搬状態へ移行するときに前記可搬型検出器 1 4 を充電モードからアイドル・モードへ移行させるステップをさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記可搬型検出器 1 4 が前記可搬状態から前記固定状態へ移行するときに前記可搬型検出器 1 4 をアイドル・モードから待機モードへ移行させるステップをさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。